

令和3年（2021）

■ 10月15日（金）

## ② 第2区（南側の調査区）の調査

斜面下方の貝層下土層の調査を実施しました（写真1）。

遺物は後期中葉の加曾利 B1 式を主体にその前後の土器を伴っています（写真2）。



写真1 貝層下の土層の調査



写真2 土器の出土状態

令和3年（2021）

その西側、調査区西端では、概ねローム層を検出しました。上面は西へと緩やかに傾斜しています。ローム層の検出深度は現地表下約 2m でした（写真3）。



写真3 基盤の関東ローム層（直上）